



☆ 視点を変えれば、世の中は変わる。

☆ Rethink=視点を変えて考える

ちょっとした問題や課題に出会ったとき、視点を変えて本質に気づくことで、前向きな行動につながります。

Rethink PROJECTは、JTがパートナーの皆さまとともに行う地域社会への貢献活動の総称です。

私たちは、心みたされるよりよい明日の実現に向けて、Rethinkをキーワードにこれまでにない視点や考え方を活かしながら、地域社会の様々な課題に向き合っています。

そしてRethinkフォーラムは、地域住民、地域企業、自治体の方々とともに地域社会の課題解決に向けてディスカッションをする場です。みんなで地域の未来についてRethinkしてみませんか？



「Rethinkフォーラム」(東奥日報社主催、青森県、青森市、青森県教育委員会、青森市教育委員会、青森商工会議所後援、Rethink PROJECT協賛)が、7月13日に青森市のウェディングプラザアラスカで開催されました。第一部は、つるの剛士さんがトークショーを行い、第二部ではつるの剛士さん、宮下宗一郎青森県知事、『たまごクラブ』『ひよこクラブ』統括編集長の米谷明子氏(ベネッセコーポレーション)を交えて、「Rethink青森～誰もが安心して子育てできる環境づくりを～」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

☆ ゲスト



たけし
つるの剛士氏 (俳優/歌手/タレント)
演題：自分らしくいるための視点

1975年福岡県出身。多方面の芸能分野で活躍する一方、2男3女の父として積極的育児にも励む。2022年、幼稚園教諭2種免許、保育士資格取得、大学の「こども心理学部」通信制教育課程3年次に編入し現在4年生。非常に幼少期から多岐にわたる活動も。

☆ 育児取得通じて家庭の理解者になろう ☆

★ チャレンジすると新しい刺激舞い込む

—5人の子どものパパ、俳優、歌手、タレント、幼稚園の先生と幅広い視点をお持ちと伺います。
現れたものに興味を持つとチャレンジしちゃう。すると新しい刺激が舞い込む。まさにRethink。違った視点でいろんなことを見られます。

★ 好きな子にモテたくて目指し始めた芸能界

—どんなお子さんでしたか。また、芸能界に入ったきっかけは。
僕は大阪育ちで、幼稚園からの友達に「つるちゃんほんま変わらへん」と言われます。七夕の短冊に「ウルトラマンになりたい」と書いて、本当になった。小2の時好きだった女の子が子役俳優で「あの子にモてるには芸能界だ」と思って。銀行員の親父の転勤で東京へ行ってからオーディションを受けまくっても、着にも着にも掛からず。エキストラの仕事を通じて俳優の河相我聞と友人になり、彼のラジオ番組で後ろでゲラゲラ笑っていたら、ディレクターに「声が面白い」と番組

のコーナーを任せられ、ちょっと人気になって、2年後、ウルトラマンに受けました。

★ パパが気付いていないこと「これだ」

—2008年、バラエティ番組のユニット「羞恥心」で大ブレイク。人気絶頂期に育児休業し、「イクメン」の言葉がピンとくる方も多いのでは。当時の家庭状況は。
仕事が忙しな時に4人目が生まれ、家では仮眠するくらい。子育ても奥さん任せで、夫婦げんかも増えて。そんな時、死んだ親父の「家庭がしっかりしてないと、仕事うまくいかないよ」の言葉が降ってきて。09年夏、ベスト・ファーザー賞を受賞した時、「来年の1月1日から休みます」と誰にも相談せず言って。2カ月休ませていただきました。「イクメン」と言われても、自分は違うと言いつつ。でも第5子が誕生し、イクメンになろうと再び育児取得。1回目と違い、世の奥さんがやってくれることを一からやろうと。朝から晩まで家事でした。結果をブログに載せたら、世の奥さまから「男性でこれだけ経験してくれてありがとう」「私たちの気持ちを代弁してくれた」との声をいただき、パパが気付いていないのはこれだったと分かりました。

★ 育児の本質分らないと「会社に行って」となる

—分かったことは。
1回目の育児は最初は楽しくて。でも2週間後、誰にもありがとうと言われない日常が辛くなって。全く違う視点で見ることができた。育児して、僕のRethink人生が始まったんです。育児取得率が伸びても、パパが本質を分らず家事もできないと、子どもが増えるのと同じで、「だったら会社に行って」となる。育児は男の家庭訓練。家のことをいろいろやり、自分も家庭の理解者になる。すると奥さんの話を理解でき、言われる前にやったりできる。それこそRethinkです。

テーマ「Rethink青森～誰もが安心して子育てできる環境づくりを～」

パネルディスカッション出演者 つるの剛士氏 (俳優・歌手・タレント)、宮下宗一郎氏 (青森県知事)、米谷明子氏 (『たまごクラブ』『ひよこクラブ』統括編集長)、竹内夕己美 (フリーアナウンサー)

結婚、子育てにポジティブな雰囲気づくり大事

竹内 青森県の合計特殊出生率2以上への道筋を知らないと。宮下 子どもの減少は1975年に始まり、青森県の合計特殊出生率は今1.23ですが、2にしないと人口が増えない。過去50年間のトレンドを変えるのは長い道のりで、若い人がなぜ結婚しないか、結婚してもなぜ子どもを「必要ない」と思うかを丁寧に解決するのが大事です。県では不妊治療の無償化が7月に全国に先駆けて始まり、10月からは小中学校の給食費無償化の見通しが立っています。
竹内 全国では出生率を高める取り組みや、良い子育て環境が話題の地域も。
米谷 鹿角島県徳島の島町、千葉県流山市などです。子育てへのポジティブな雰囲気がつくあります。
つるの 私も雑誌「たまごクラブ」「ひよこクラブ」の取材を通じて十何年前から「結婚は素晴らしい」「子どもってこんなかわいい」と発信し続けています。
米谷 「たまひよ」の調査データを紹介します。毎年の質問項目の一つ「日本は子育てしやすい国だと思うか？」に対し、「そう思わない」「全くそう思わない」の数値が、コロナ流行が始まった直後より、2022年の不妊治療保険適用やパパ育児開始後のほうが高い。「なぜ子育てしにくいと思うか」の1位が経済的・金銭的な話です。子育てで支援で補助金がたくさんある中でなぜ、経済的に無理という数字が高いのか。子育てに関して、ネガティブなイメージがすごく漂っているのが一つの原因では。
宮下 行政が号令をかけて物事が前に進む社会ではなくて。それでも地道に信頼関係を築くのも私たちの仕事で、希望を見出したいです。
米谷 東京都では不妊治療も卵子凍結補助などいろいろな育

て支援策があるのに、出生率は0.99と低い。むしろ人口が少ない地域の方がポジティブな雰囲気をつくりやすいかもしれません。青森県が不妊治療を全額負担するのは驚き。しかし不妊治療施設は都会に集中しがちです。
宮下 県内は5施設ほどですが、県の全額負担の不妊治療は県外で受けてもいい。施策による出生率へのアプローチも大事ですが、本県の子育てが良くなる見通しと希望が、若い人がいろいろ取り組むきっかけになるようにしたいです。
本州の端っこから育児・保育ツーリズムを
竹内 ここからのテーマは「地域全体で充実した子育て環境を実現するために」。今までにない視点、Rethinkの観点から議論します。宮下 知事、今の課題やそれに対するビジョンは。
宮下 保育環境はしっかり整え、学童保育やベビーシッター制度も全県でやりたい。病児・病後児保育もです。保育士の確保、処遇にも着目したいです。
竹内 つるのさん、地域全体で充実した子育て環境を実現するのに必要なものは。
つるの シャッターが閉まった商店街の専門的職業だった方々に先生になってもらい、町をまるごと保育環境にしては。
米谷 とても良いと思います。東京ですいぶん前に子育てしましたが、もし今、私が子育て期だったらパートナーと青森で育児してもいい。
つるの 自然の中で養われる子どもたちの感性は絶対役立ちます。子どもたちを田舎に連れてきて、思いっきり自然の中で保育する。一緒に来た親御さんがそこを気に入ったら移住するかも。
米谷 パパが育児を取っても、結局思うように頑張れなかったりして、「とるだけ育児」と言われたりします。それなら育児ツーリズムで青森に滞在したら、心が楽になるんじゃないでしょうか。

つるの 本州の端っこの青森からやってみて。
宮下 雪も、保育ツーリズムで来た人たちにとっては雪遊びが話題になります。
ママ、パパ 子育ては頑張りすぎず気を抜いていい
竹内 つるのさん、子育てで楽しかったこと、Rethinkしたことは。
つるの 毎日Rethinkですよ。僕は、親というより子どものちょっと先輩くらいと一緒に学んでいます。中学受験の息子に「勉強しなさい」と言った時、もう一人の自分に「どの口が言ってるんだねん。お前おバカやないかい」とツッコまれて。それで息子じゃなく僕が塾に入った。子どもに「勉強しなさい」と言えないんで。
竹内 塾の先生もびっくり。
つるの 「何してんですか(塾の先生)って。その時41歳で、勉強楽しくなって短大にも行って。子どものおかげです。Rethinkして、勉強の楽しさを知ることができたので。子どもたちは子どもたちでたぶん今しかできないことやってんだな。僕みたいに40歳になって勉強したいと思ったらたぶんやるな。それから一切「勉強しろ」なんて言っていないですよ。
米谷さん、子育ての助けになる一言を。
米谷 現代のママ、パパは働くのが当たり前なこともあって、育児や家事をタスク管理みたいに考えて頑張りすぎちゃう。もっと気を抜いていい、楽しいって言いたいです。
竹内 つるのさんに(会場から質問です。「幼稚園教諭として非常勤で通園して(中略)子育ての環境づくりに関して関心が深まったものは」
つるの それこそRethinkで今度は保育者として勉強です。教育実習先で園庭の落ち葉を掃除していたら、「掃除しなくていいです。これ、遊びの環境なんですよ」と言われ、「あ、落ち葉もおもちゃか」って。保育の先生は専門性が高く、物事を見る目がクリエイティブ。AIには絶対に代わらない本当に素晴らしい仕事です。

